

宮城県土木部 復興だより第26号

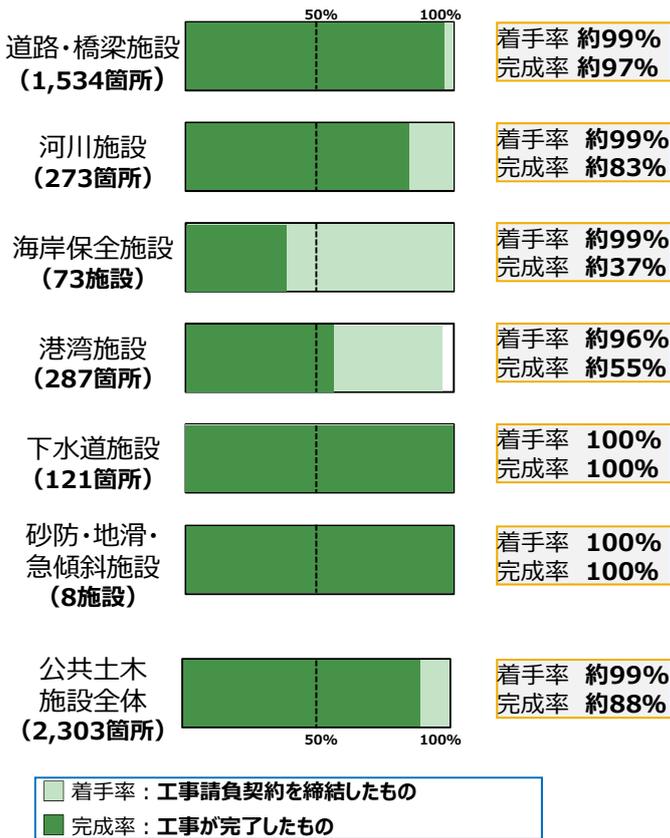
contents

- ・復旧・復興事業の進捗状況【平成29年9月末現在】
- ・復興トピックス(平成29年4月～平成29年9月)

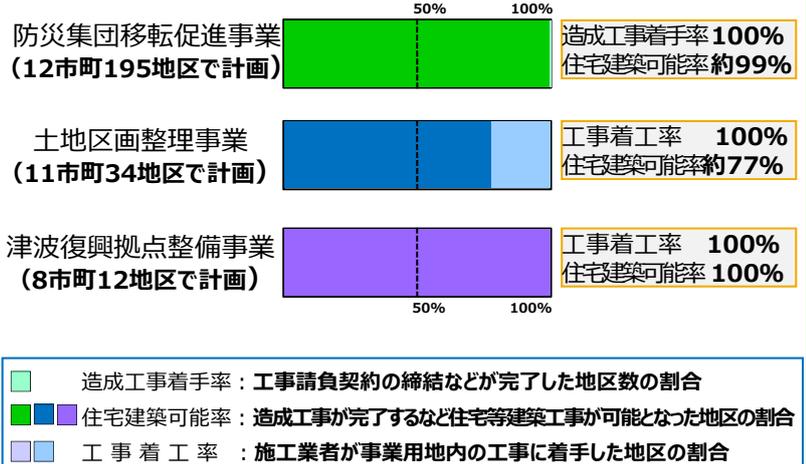


復旧・復興の進捗状況【平成29年9月末現在】

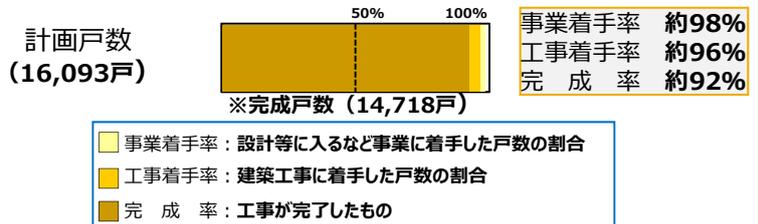
●災害復旧工事の進捗状況



●復興まちづくり事業の進捗状況

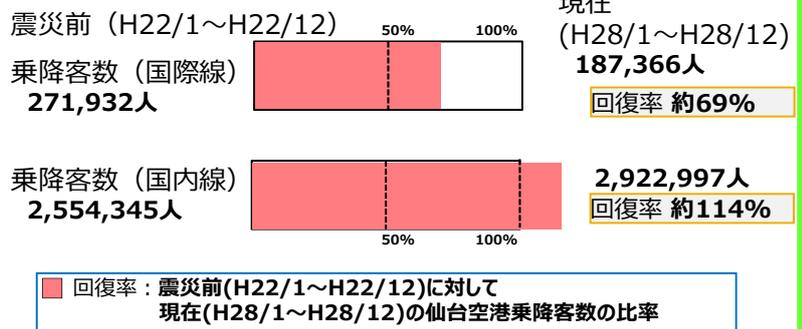
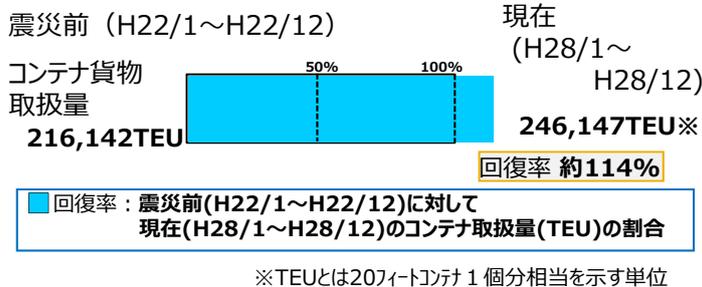


●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況

●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



▲宮城県では、毎月復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。詳しくは下記URL又はQRコードを参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス（平成29年4月～5月）

4月

●4/1 常磐自動車道「山元南スマートIC」開通

●4/7 鳴瀬川総合開発工事事務所 開所式

鳴瀬川の洪水調節と河川環境の保全、かんがい用水の補給等のため、筒砂子ダムの新設と漆沢ダムの再開発を行う「鳴瀬川総合開発事業」が、平成29年度から国により建設事業化しました。

事業促進のため、平成29年4月1日に「鳴瀬川総合開発工事事務所」が新設され、その開所式が行われました。

●4/29 大型旅客船「セブリティ・ミレニアム」初入港

●5/8～12 「みやぎ防災津波月間」パネル展開催

5月の「みやぎ津波防災月間」の取り組みとして、県庁1Fロビー壁面にて「津波防災月間パネル展」を実施しました。

●5/23 ★ウェルカムフェスタ2017★ 客船「ぱしふいっくびいなす」入港

●5/26 平成29年度津波防災シンポジウム ～新たなコミュニティで生かされる震災伝承とは～ 開催

●5/28 気仙沼市災害公営住宅整備完了・入居式

●5/25～6/8

「みやぎの復興まちづくりパネル展inあきた」開催

JR秋田駅東西自由通路（ぼぼろ一ど）において「みやぎの復興まちづくりパネル展inあきた」を開催しました。

秋田駅を利用する大勢の皆様には沿岸15市町の様子をご覧いただきました。

●5月26日

平成29年度津波防災シンポジウム

～新たなコミュニティで生かされる震災伝承とは～ 開催

シンポジウムは毎年5月の「みやぎ津波防災月間」のイベントとして開催しており、11回目となる今年は名取市文化会館中ホールにおいて開催し、約300名の方々にご参加いただきました。

今年度の基調講演は、「震災伝承のあの日まで・あの日から・これから」と題して、東北大学災害科学国際研究所助教の佐藤翔輔様にご講演いただきました。また、名取市立関上中学校教頭の八森伸様、関上復興だより編集長の格井直光様から情報提供いただきました。

さらに、シンポジウムの中で、「3.11伝承・減災プロジェクト」に賛同いただいた「伝承サポーター」の方々に対して認定式を行いました。認定した個人・団体の方々のうち出席いただいた19名（10者）の方々には認定書をお渡ししました。

この他、シンポジウムと併せて「3.11復旧・復興パネル展」と「水素自動車（FCV）」の展示を行いました。



基調講演



伝承サポーター 認定式

▲「3.11伝承・減災プロジェクト」「伝承サポーター制度」については、防災砂防課ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensaip/>

●4月1日

常磐自動車道「山元南スマートIC」開通

NEXCO東日本及び山元町が整備を進めてきた常磐自動車道「山元南スマートインターチェンジ」が完成し、開通式典が開催されました。

開通により、地域の観光振興や産業の活性化等が見込まれるほか、災害に強いネットワークの確保や救急医療施設へのアクセス向上にもつながることが期待されます。



●4月29日

大型旅客船「セブリティ・ミレニアム」初入港

セブリティクルーズが運航する大型客船「セブリティ・ミレニアム」（総トン数91,000トン 全長294m）が、平成29年4月29日に仙台塩釜港（中野1号埠頭）に初入港いたしました。

乗客乗員合わせて約3,200名ものお客様をお迎えするにあたり、船外での歓迎セレモニー、伊達武将隊による歓迎演舞が行われ、ふ頭では日本文化体験（こけしの絵付け）や物産販売が開催されました。

さらに、寄港中のお客様の利便性向上を図るため、関係団体の連携・協力のもと、多賀城駅・仙台うみの杜水族館・三井アウトレットパーク仙台港へのシャトルバス運行や語学ボランティアによる観光案内の実施、フリーWi-Fiスポットの設置を行いました。



●5月28日

気仙沼市災害公営住宅整備完了・入居式

市営気仙沼駅前住宅の完成により、気仙沼市における災害公営住宅（計画戸数2,087戸）の整備が完了し、その完成式典が開催されました。



復興トピックス (平成29年6月～7月)

6月

- 6/1 宮城県港湾復興大会開催
- 6/10 ★ウェルカムフェスタ2017★
客船「飛鳥Ⅱ」入港
- 6/11 ★ウェルカムフェスタ2017★
客船「にっぽん丸」入港
- 6/13 (主)女川牡鹿線(仮称)小乗浜トンネル
貫通
- 6/17 (一)馬場只越線 只越バイパス 開通
- 7/1 スカイマーク「仙台～神戸線」就航
- 7/7 宮城県建設工事表彰式・
事故防止対策推進大会

●7/10 新相川橋 開通

東日本大震災の大津波により上部工が流出、交通が遮断されるなどの甚大な被害を受けました。本復旧について、平成28年10月に上部工が完成し、このたび取付道路の完成により車輛通行可能となりました。

●7/12 石巻港開港50周年式典 開催

式典には、石巻市、東松島市、女川町、石巻港の関連企業等が参加し、50年間の成長を振り返るとともに、さらなる石巻港の発展を願いました。

●7/14 菖蒲田浜地区復旧・復興事業竣工式

●7/14 東日本大震災伝承板設置

●7/17 常磐自動車道 山元IC～岩沼IC間 4車線化事業着工

東日本高速道路株式会社が事業を進めている、「常磐自動車道(山元～岩沼)4車線化」について、本格的な工事に着手することから、着工式が行われました。

4車線化により、混雑解消や利便性・安全性の向上などが期待されています。

●7/31 仙台塩釜港仙台港区 臨港道路ふ頭8号線完成

港内交通の円滑化を図るため、中野地区と中野南地区を連絡する臨港道路で、平成28年2月から着工し、平成29年7月31日に工事が完成し、供用を開始しました。

●7月14日

菖蒲田浜地区復旧・復興事業竣工式

宮城県と七ヶ浜町により平成24年度から整備を進めてきた、菖蒲田地区海岸災害復旧事業、菖蒲田復興道路事業並びに菖蒲田浜地区都市公園事業の竣工式を平成29年7月14日に開催しました。

宮城県では被災に伴う新たな津波対策として、今後数十年から百数十年に一度程度発生する比較的頻度の高い津波であるレベル1津波に対応する高さとし、菖蒲田地区海岸をT.P.+6.8mで復旧しました。また、道路は東日本大震災時の教訓を踏まえ、避難車両がスムーズに通行が可能となる幅員を確保した幅広道路の整備を行いました。



●6月13日

(主)女川牡鹿線(仮称)小乗浜トンネル 貫通

復興道路事業の小乗浜工区は、平成24年度より女川町小乗浜地内から高白浜地内までの1.2km区間で事業を進めています。

事業区間の一部である「(仮称)小乗浜トンネル」の貫通に伴い、平成29年6月13日に、トンネルの貫通記念式典を開催いたしました。併せて、同トンネルの名称を「小乗トンネル」に決定したことを披露いたしました。

今後は、平成30年度末の全区間の完成を目指して工事を進めてまいります。



●6月17日

(一)馬場只越線 只越バイパス 開通

県が平成14年度より整備を進めてきました一般県道馬場只越線「只越バイパス」について、平成29年6月17日に開通式を開催し、供用を開始しました。

気仙沼市唐桑町中心部と三陸沿岸道路を結ぶ重要な路線であり、供用により、安全で円滑な交通確保が図られることから、唐桑地域の復興はもとより、水産業や観光振興に大きく寄与することが期待されます。



●7月14日

3.11東日本大震災伝承板を設置しました

菖蒲田地区海岸災害復旧工事の竣工に合わせて、2基目の「3.11東日本大震災伝承板」を設置しました。

この伝承板は、3.11伝承・減災プロジェクトの「ながく」伝承の取り組みの一つとして、河川・海岸堤防のL1高さの考え方や防災道路の位置付け等を表示し、多重型の津波防災対策について広く周知することを目的に設置を進めていきます。



復興トピックス（平成29年8月～9月）

8月

- 7/5～8/6 みやぎの復興まちづくりパネル展 inとくしま
- 7/26～8/7 2017夏休み！小学生と保護者の親子現場見学会

●8/20 おうちづくりの学校見学会

小学生とその保護者を対象に、家づくりの技能を体験していただく「おうちづくりの学校見学会」を開催しました。職人さんが先生となり、「ぬり壁」や「瓦ぶき」、「レンガタイル張り」、「床板張り」などを体験しました。

●8/22 菅生スマートIC連結許可書伝達式開催

平成29年7月21日に国土交通省より新規事業化が認められた（仮称）菅生スマートインターチェンジについては、同日付で連結道路管理者である宮城県が国土交通省に東北縦貫自動車道への連結許可申請書を提出し、8月4日に連結許可が認められたことから、平成29年8月22日に連結許可書の伝達式が開催されました。

●9/4～29 みやぎの復興まちづくりパネル展

みやぎ生協文化会館ウイズにおいて、「みやぎの復興まちづくりパネル展」を開催しました。この取組は、宮城県とみやぎ生活協同組合との「安心して暮らせる地域づくり」に向けての包括連携協定の一貫で行われたものです。

●9/24 ピーチ「仙台－札幌線」就航

●9/25 ピーチ「仙台－台北線」就航

9月

●9月24日 ピーチ「仙台－札幌線」就航

9月25日 ピーチ「仙台－台北線」就航

Peachは、9月24日より仙台空港を拠点とし、新たに札幌（新千歳）線を、翌日25日には台北線を就航しました。札幌線は1日2便、台北線は週4便での運航となります。

また、仙台空港拠点化を記念して、県とPeachの共同プロジェクトとして、特設ウェブサイト「COMOMO」を開設しました。

<https://comomo-japan.com/jp/>



●7月5日～8月6日

みやぎの復興まちづくりパネル展inとくしま開催

東日本大震災の記憶の風化防止と宮城県で行われている「復興まちづくり」の状況を広く徳島県の皆様を知っていただき、発生が危惧されている南海トラフ地震などへの備えに活かしてほしいという思いから、徳島県内3箇所において「みやぎの復興まちづくりパネル展inとくしま」を開催しました。

同時開催として出前講座を行い、参加者からは「復興の現状、今後の課題について生の声が聞けてよかった。」等の声をいただきました。



▲パネル展の状況や復興まちづくりの進捗状況については、復興まちづくり推進室ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukumachi/>

●2017夏休み！小学生と保護者の

親子現場見学会開催

普段近寄ることのできない工事現場の見学や体験コーナーで建設機械等に触れるなど「ものづくり」の楽しさを体感していただくことで、建設産業の魅力と役割について理解していただくため、「親子現場見学会」を開催しました。

工事現場近隣の小学生とその保護者を対象に平成29年7月26日～8月7日にかけて延べ6日間開催し、224名の方々にご参加いただきました。

- 7月31日・8月2日（仮）姥ヶ懐トンネル工事（岩沼市）
- 8月1日 農業高校改築工事（名取市）
- 8月3日 北貞山運河河川災害復旧工事（仙台市）
仙台市東部復興道路工事（仙台市発注工事）（仙台市）
- 7月26日 大沢川外河川災害復旧工事（石巻市）
- 8月7日 気仙沼洋高校改築工事（気仙沼市）



○記事に関する問い合わせ○

宮城県土木部土木総務課企画調整班

TEL : 022-211-3108

E-mail : dobokgk1@pref.miyagi.lg.jp

H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>